

第5回 吹田操車場跡地を中心とした健康・医療のまちづくり会議 議事要旨

1 開催日時

平成27年(2015年)4月9日(木) 午後1時30分～午後3時30分

2 開催場所

吹田市立保健センター研修室

3 構成員出席者

吹田市医師会 四宮会長、川西副会長、吹田市歯科医師会 千原会長
吹田市薬剤師会 大森会長、摂津市医師会 川西会長、大浦副会長
摂津市歯科医師会 喜島会長、摂津市薬剤師会 石田副会長
国立循環器病研究センター 内藤病院長、三石企画戦略局長
市立吹田市民病院 衣田総長、前田事務局長
大阪府吹田保健所 谷口所長、大阪府茨木保健所 高山所長
摂津市 島田保健福祉部理事、堤保健福祉部長、摂津市保健センター 福永事務局長
吹田市 米丸医療まちづくり監兼吹田操車場跡地まちづくり担当理事、
安井健康医療担当理事、乾都市整備部担当理事

4 構成員欠席者

なし

5 案件

- (1) 4街区駅前複合施設について
- (2) 国立循環器病研究センター及び市立吹田市民病院の基本設計に係る報告等について
- (3) その他

6 議事の概要 別紙のとおり

事務局 第5回「吹田操車場跡地を中心とした健康・医療のまちづくり会議」を開催します。

まず、昨年度4月に開催しました第4回会議の議事録をお手元に置かせていただいております。こちらで御確認いただければと思います。

また、本日は、議題1に関しまして、JR西日本から御説明にお越しいただいております。

それでは、議事に入らせていただきます。4街区の駅前商業施設の土地譲受人がJR西日本に決定し、3月上旬に契約されています。この施設は、募集要項の中では健康・医療のまちづくりを進める中心的な施設という位置づけになっています。そういったコンセプトの中でどのような事業を展開されるのかということ、まだ固まっていないことも多いかと思いますが、現時点での状況について聞かせていただき、地元の医療関係者からも御意見等ございましたら出していただき、意見交換ができればと思います。その後、国立循環器病研究センターと吹田市民病院の基本設計が3月に終了していますので、それぞれの概要を説明していただきます。そして、国立循環器病研究センターから今後進めることを検討している新事業の現時点での案について説明していただきます。最後に、報告事項として吹田市と摂津市からそれぞれ報告させていただきます。

それでは、議題1として、4街区の駅前商業施設の今後の方針につきましてJR西日本から説明していただきます。

A ー資料2「4街区駅前複合施設事業者からの提出資料～駅から始まる魅力ある街づくり～」にて説明。

事務局 御質問などございますか。

B 導入予定のいろいろな事業を御説明いただき、ありがとうございます。正式には細かいことは何も決まっていなだろうと思いますが、医療・健康増進機能について、吹田の場合、一般診療所は過密状態なので、医療モールに入るところには一般診療所は不要だと考えています。むしろ、国立循環器病研究センターや吹田市民病院を補完するような、例えば医療資源を共用できるような施設といったものを考えていただければと思います。それから国立循環器病研究センターで行われている脳ドックのようなものができるものや、この地域は禁煙地区ということなので、吹田市民病院もされているようですが、禁煙外来を広げていくという意味での診療所機能、もう一つは子育て支援ということで、これは吹田市の仕事かもわかりませんが、岸部地区に今まで病児病後児保育があったのですが委託していた機関の都合により3月で廃止になったので、できれば子育て支援の一環として考えていただければ非常にありがたいと思います。また、リハビリ特化型のデイサービスということですが、国立循環器病研究センターで心疾患、脳疾患のリハを専門にされていますし、今度吹田市民病院にも回復リハの病棟が出来るとい

うことなので、そのへんを十分考えていただかないと、作っても人が来ないということになるのではないかと思います。

- A 御意見ありがとうございました。具体的な中身については今後詰めていくということになりますが、例えば診療科目や各病院との連携については、先ほど申し上げましたが、我々のパートナーとなっている医療関係の会社で具体的に今後進めていただくことになると思います。今後いろいろと詰めさせていただければと考えています。禁煙に関しては、今は分煙になっていますが、施設の作り方の中で、例えばテナントの中でどういった考え方にしていくのかということは今後考えていきたいと思っています。子育て支援については、今のところ保育園に入っていたきたいと思っています。最終的に入っていただけるかは最後までわかりませんが、現状ではそういったテナントにも入っていただきたいと考えています。

事務局 ありがとうございます。吹田市としましても、JRが進められるにあたっては、決まってからというのではなく、決まる前に健康関係の機能を御相談いただきながらみなさんに御相談して、ハードルがあるのであれば、どうすればハードルを乗り越えられるのかという観点で調整させていただきたいと思います。

- C いくつか質問があるのですが、一つは調剤薬局のことにに関して話が出ていませんでしたが、商業ゾーンに大手チェーン薬局が入ってくると薬剤師会に入られないチェーン薬局も多いく、地元の薬剤師会にとっては、患者が国立循環器病研究センター、吹田市民病院から開業医に行かれると調剤薬局の連携が非常にとりにくくなるケースも多々あります。今、薬局事業の見直しをしていかないといけない中で、連携がとれない薬局が入っても我々にメリットはありません。あれだけ規模が大きいので恐らく複数薬局を入れざるを得ないと思いますが、そういった場合には吹田・摂津の薬剤師会の中から選定して、出店の機会、良い意味での競争原理を考えていただきたい。また、新しいゾーンなので、ここで新しい形の、例えば24時間365日稼働させて救急、日用雑貨、生活用品を含めて患者やそこで仕事をする人を考えたような薬局モデルを作るとか、今までとは違うものを作っただけで、この附加価値が上がると思います。ぜひそういったところを検討していただきたい。

もう一つ教えていただきたいのですが、宿泊施設の件ですが、通常のビジネスホテルと、例えばメディカルホテル、患者と家族が泊まるようなホテルではかなりニーズが違うことがあるので、今後どういうスタイルのホテルを造っていくのか、医療関係者としてしっかりヒアリングしたうえで造っていただきたいと思います。もし、今構想でもあれば聞かせていただきたい。

最後に、メディカルクラスターですので、ここに研究開発を含めて様々な業種が出店を考えていると思いますが、どこで様々な考え方を受け入れて検討する体制を整えられているか教えていただきたい。

A まず、調剤薬局について、医療関係の専門のパートナーは調剤薬局の会社なので、そちらに全面的にお願いすることを考えていますので、今いただいたような御意見を伝えながら具体的な中身は検討していただくことになります。

 宿泊施設について、今考えているのは通常の宿泊特化型ホテルです。宿泊特化型のホテルの中でもメディカルということについて、我々はよくわかっていません。シングルでも泊まれるいわゆるホテルではなく、2人や家族で利用できるようなちょっとランクの高いホテル、外国の方はなかなかシングルに泊まりたがらずダブルやツインを好まれるということもありますので、そういったものを中心としたような部屋をいれていこうと考えています。患者が泊まるということは想定していません。病院に入院されている患者の家族などが近くで泊まることを想定していますが、全体の中でのすごく割合の多いニーズだとは思っていません。まず、メインは大阪に来られるビジネスマンニーズが中心で、それから海外から国立循環器病研究センターに来られるようなインバウンドの方のニーズ、そして病院の見舞いの方のニーズの三本柱のニーズを考えています。ですから、特別な機能があるということは考えていません。

 テナントの検討については、我々JR西日本が考えていますが、いろいろなグループ会社と検討しています。不動産やショッピングセンターを扱っている会社を参画させてグループ力で今回の計画を進めようとしているところです。今後テナントの話をもどの会社で受けさせるのかということは今調整をしていますので、当面の間は我々JRの方でお話をさせていただこうと考えています。

事務局 そのほかいかがでしょうか。

D 先ほど、喫煙・禁煙について、後ろ向きな話をされたのですが、私の個人的な話かもしれませんが、ここは敷地内禁煙にさせていただきたい。健康・医療のまちづくりということで、そういう方針にさせていただければ非常にありがたいと思います。というのは、両側の病院はもちろん禁煙で、入院患者に禁煙を指導することも多々ありますので、その患者が抜け出してここに来て喫煙されては意味がないので、敷地内禁煙のような思い切った決断をしてほしいと思います。吹田市も路上喫煙禁止ということでキャンペーンもしています。連絡通路でたばこのおいがしたのでは健康のまちとは言えないと思いますので、そのへんはしっかりと考えていただきたいと思います。

A 商業施設が中心になっているので、そこで買い物や食事をしていただいたり、泊まっていたりということで、お金を落としていただくことによってこのプロジェクトが回っていくこととなりますが、一般的に全面禁煙の商業施設はなかなかないと思います。敷地内のどこに行ってもたばこが吸えないということになると、我々もテナントを集める自信がないのでそこまでできないだろうと考え

ています。ただ、通路に出たらたばこのにおいがするというようなことはないように、いわゆる共用部分や公衆部分にそういったものが出ないように、喫煙ルームやテナントの中でたばこを吸える席と吸えない席を明確に壁で仕切るというようなことが最近行われていると思いますが、そういったことを積極的に取り入れることになると思います。

事務局 吹田市としては、まちづくりの実行計画を3月に策定しており、その中でもこの吹田操車場跡地エリアを路上喫煙禁止エリアにすることを方向性としています。それは基本的に街路や広場の話になりますが、施設内での禁煙というのもできれば進めていく方がまちとしてストーリーも一貫していますので、分煙の仕方もいろいろあると思いますが、軽度な分煙だと、健康増進法に基づいて行っている簡単な仕切りだけで分煙といえるかというようなところから、個別のテナントの中で完全禁煙にするなどいろいろ段階があると思いますので、ぜひ御相談しながら進めていただければと思います。

E 基本的な機能を御説明いただいたのですが、このような機能は非常にオーソドックスなものに見えます。コンペでJR西日本が選ばれた時に、こういうものを組み立てて総合的なビジョンとかコンセプトを生かして何か強みを表現したことで選ばれているのではないかと思います。先ほどのたばこの問題にしても何か基本的なコンセプトをいれる時にソフト面についての組み立てがどの程度あったのでしょうか。

A この機能はURがコンペの中で求められた機能について、しっかりいれていきたいということになっています。全体のコンセプトについては、まち全体は健康・医療のまちづくりを掲げられているので、国立循環器病研究センターや吹田市民病院との医療の連携についてどうなっていくとか、フィットネスクラブは病気になる前にどういったことができるか、介護度が上がらないようにしていくにはどういったことができるのかというようなことなど、入っていただくテナントとまちにいらっしゃる病院との連携をさせていただこうというのが一番の骨格になっていると思います。具体的なコンセプトは掲げていません。

E 連携は当然だと思いますが、それをJR西日本がトータルで組み立てられるところで強みがあるかだと思います。その中でコンセプトのきかせ方に関して、仕掛けとして我々はこのような強みを持っているということを提案されたことで他の業者から勝ち抜かれたのだと思いますが、そのような要素があれば聞かせていただきたい。そういう要素があればあるほど提案された事業を反映していただくチャンスがあると思います。

A 我々の強みで一番打ち出したのは、行政と連携したまちづくりをJR西日本全

体でいろいろなソリューションを出せるというところですよ。まちづくりのノウハウもありますし、実績もあります。沿線において駅前にビルを建てること、その中でいろいろな施設を運営することについてはかなり長けている、そこが我々の強みと考えています。

事務局 URから複数社応募があったと聞いています。他社に比べてJR西日本がいろいろなコンテンツを盛り込まれていたのだと思います。募集要項にも書かれていますが、この商業施設に来ることによって、何かサービスを受けることで、何か健康に対する行動変容を促すような商業施設にしてほしいとURに申し上げて、URもそれを承知で募集にかけているので、他社に比べて、価格との総合評価なので技術の部分だけではわかりませんが、いろいろな要素を盛り込まれていたのではないかと思います。それがブラッシュアップされていく中で、随時御相談させていただきたいと思います。

F 先ほど言われていたように、コンセプトということが重要だと思います。私もからURにお願いしたのは、コンセプトをきちんと各業者から提案させてくださいとお願いしていました。もし差支えなければ、そこにどういうコンセプトを出されていたのか、後日でも結構ですでお出しいただくことは可能でしょうか。

A 一番上に書かせていただいているのは、JR西日本グループの総力をもって豊かな市民生活と最先端の健康都市創造を目指していきたいということです。我々の強みはいろいろな生活関連事業をグループとしてやっているところです。

G 駅前ビルについて、医療モールとして、箱モノがあって一般の歯科・医科が入ることが多いと思いますが、それでは代わり映えがしないと思います。高齢化社会に向けて医科も歯科も薬剤師会も介護をされる方も連携をしています。国としては、今後看取りで、在宅介護看護に移行していく中で、在宅に関しては一般の歯科医・医師が受け持つてほしいというコンセプトのもと、歯科医師会・医師会もそれに向けて準備をしているので、こういう医療モールに一般の歯科・医科が入るとするのはコンセプトにそぐわない、この地域にはふさわしくないのではないかと思います。医療モールに関しては違うコンセプトということで、例えば個人的な想いですが、一般の歯科・医科が入るのではなく、歯科であれば国立循環器病研究センターの歯科を作るということをすれば連携をしやすいと思います。そういうような連携を強化できる医療モールのコンセプトを作してほしいと思います。

A 御指摘のとおり、従前から我々が駅ビルでしているモールでは駄目だということはわかっていますが、具体的にどうしていくかということはJR西日本にノウハウがありません。今までは大家さんで、事務所への賃貸も医院への賃貸も変わ

りませんでした。今回は両病院との医療連携が非常に重要になるということで、その部分をしっかりと考えていただけるパートナーを選択しているつもりです。そちらがノウハウを持っているはずだと思っているので、具体的な話ができるレベルにはないと聞いていますが、国が目指している方向性は理解したうえで中身を考えてもらっていると思っています。今後、我々が今まで行ってきたものとは違うものになると考えています。

B 保険調剤薬局が入るということですが、国立循環器病研究センター、吹田市民病院について、規制改革会議で薬局が同一敷地内、同一建物内に入ってもいいということが通りそうなので、国立循環器病研究センターと吹田市民病院はどうされるのでしょうか。それによって商業施設に調剤薬局が必要かということも問題になると思います。

F 政界の動向については注視しているつもりで大変関心を持っていますが、具体的にはどうなるかわからないので、今の段階では動きを注視している状況です。

H 国立循環器病研究センターの場合は、患者の種類にも何通りかあり、子どもであったり、移植の患者であったり、普通の薬局に行くのとは動線を変えた方が良いという患者もいますので、それを考慮して病院内の設置も検討することになるかと思います。

I 吹田市民病院ですが、現在新病院の敷地内に薬局を設置することは検討していません。

J 大阪府薬剤師会に一つ薬局を開設していただくのはどうかと話していますが、大阪府薬剤師会からはまだ回答をいただけていません。現在、大阪府薬剤師会には45社のチェーン薬局が申し出をしているとのこと。ですから、今後慎重に考えていかなければならないと思っています。

K 先ほどからの各委員の発言を聞いていると、みなさん一抹の危惧をお持ちだと思います。これまでの健康・医療のまちづくりの基本概念の中で、JRが考えて行かれるのはいいと思います。これまで貴社に専門的なノウハウがないからどこか専門的なコンサルを持たれるのはしかたないと思いますが、株式会社が絶対悪いとは言いませんが営利第一で考えるので、健康・医療から外れていくのではないかとみなさん危惧を持たれています。医療や健康は営利とは程遠いものだと思いますので、そういった面から離れて初心に戻って検討していただけるようなところを今後しっかり考えていただきたいと思っています。それが象徴されるのがたばこの話だと思いますが、先ほどおっしゃったように、物販飲食にしてもテナントにいきなり全面禁煙をいうと集まらないのではないかとおっしゃっていましたが、

それは本末転倒だと思います。そういったコンセプトに共鳴したテナントを集めるのが筋ではないかと思います。特に、最近では企業も健康づくりを大事にされているので、全面禁煙でもいいから店を出していこうというようなテナントもあると思いますので、そういう基本的なところも押さえていただければみなさんの不安も解消されるのではないかと思います。

A 今回、コンペに出させていただいて、土地も高い値段で買わせていただいています。我々は大儲けする気はないですが、大事なことは、我々の鉄道沿線の価値を高めていくことによって沿線に住む価値を感じてもらい、最終的には鉄道を利用していただくことを目標に事業を展開しています。そうはいっても、一つ一つの事業に対して一定の利益を上げていかなければ成り立たないので、コンセプトはよくわかっていますが、テナントがすべて賛同していただけるということであれば我々も安心して取り組めるのですが、世間一般がそうではない中で理想を高く掲げても世の中の商売をされている方がついてこないということでは、我々としても事業が成り立たないのでそのあたりを御理解いただきたい。どのあたりが適正なところか我々はデベロッパーとして見ていかなければならないと思います。

H 通常の商業施設と違うところは、健康な人だけでなく多くの患者（病人）が動くことなので患者の動線などを考慮していただきたい。

C コンセプトの話がたくさん出てきていますが、結論から言いますと今回の吹田操車場跡地は通常の駅前開発とコンセプトは異ならなければならないと考えています。国立循環器病研究センター、吹田市民病院、近隣の三師会があるという1次、2次、3次が1か所に集中して、かつメディカルクラスターということで異業種を含めて様々な地域活性化産業を生み出していこうという全く新しい試みです。今までは駅を中心としてまちが出来たと言われていますが、昨今、医療・介護を中心にまちが出来ていく、今回は駅と医療・介護が融合した新しいまちづくりになっていくと思いますので、三師会のみなさんもそうだと思いますが、まさにコンセプトに関して協力していいものを作っていく、そのために密な連携が必要になってきます。事業として単体でどんどん作っていくとバラバラになってしまいます。今回のメディカルクラスターの要の商業施設がどういうふうによく機能するのか、ほかのものとの接着剤の役割ということを考えたうえでコンセプトを共に考えていければと思います。

事務局 私どもから1点だけお願いがあります。飲食店などがいくつか入ってくると思いますが、そこにも健康を意識するような仕掛けをぜひしていただきたいと思います。JR西日本でこの辺りのマーケティングをされていると思いますが、岸辺駅に関しては北の通路を自転車などが1日7,000台くらい通行するような時間帯もあり、駅としての機能は大きいです。岸辺駅の北側の鉄道不通地域から来られて、

大阪などに通勤している方もいます。今まで駅の北側には大きな商業施設はなかったもので、飲食店に関しては患者の家族や通勤客などいろいろなニーズがあると思うので、想定よりも多くてもいいかもしれませんし、バリエーションがあってもよいと思いますので、ぜひ御相談させていただければと思います。

それでは、次の議題に移らせていただきます。国立循環器病研究センター、吹田市民病院の基本設計の状況につきまして、御説明いただきます。

F －資料 3「国立循環器病研究センターの基本設計」にて説明。

I －資料 4「市立吹田市民病院の基本設計」にて説明。

事務局 ありがとうございました。

それでは、国立循環器病研究センターから新しい事業を検討されておりますので資料 5 の御説明をお願いいたします。

L －資料 5「循環器病を科学する健康都市づくり拠点整備事業（案）」にて説明。

事務局 ありがとうございました。御質問等はございますか。

続きまして、報告事項として吹田市と摂津市から報告させていただきます。

－資料 6-1「吹田操車場跡地まちづくり実行計画」にて説明。

－資料 6-2「吹田操車場跡地における「健康・医療のまちづくり」説明会のお知らせ」にて説明。

M －資料 7-1「国立循環器病研究センターと摂津市による相互の連携・協力に関する基本協定について。関西大学と摂津市による連携協力に関する協定について」にて説明。

－資料 7-2「吹田操車場跡地地区（7・8街区）土地譲受事業者の募集について」にて説明。

事務局 両市の報告は以上です。御質問等ございますか。

H －資料 7-1「国立循環器病研究センターと摂津市による相互の連携・協力に関する基本協定について」にて説明。

E 吹田市の実行計画の内容を見て、今日の議論のキーワードを思い返してみると、健康・医療のコンセプトの具体的な中身として、たばこの問題は大きいのではないかと思います。循環器病学会でも学会として禁煙を推進されており、そういった問題をどう具体化するかということも日本の社会の関心事です。実は、大阪府はたばこの公共空間での全面禁煙と受動喫煙防止推進の条例化を目指して、廃案

になったのですが、その時に担当した印象として不毛のつぶし合いの議論ばかりして、消えてしまったことがありました。業界でもたばこの問題を前向きにとらえる中で売り上げが実際に伸び出ている業種のレポートがあるので、そういったことを組み立てて、WIN-WINの関係で前進している事例も海外にあります。大阪府も京都府もそうですが、条例ではなくガイドラインで、業界団体と飲食店が一緒になってステッカーを作って前進させて実現しようという段階にきています。東京オリンピックに関連してIOCなどが求めてくる受動喫煙防止対策の国際標準は、現在の日本よりかなり高い水準になっています。日本社会もその方向にベクトルが動いていくと思いますので、そういう経過をよく検討していただき、アメリカでは西海岸から広がっていったように、ここを起点に物事が動いていくというような仕掛けをたばこに関しては考えていただきたいと思います。

事務局

ありがとうございました。

最後に、参考資料としてこれまでの議論の整理として、前回の議論に追記して配付しています。昨年7月からこの会議をスタートしていますが、当初から進め方として、一年ぐらいで中間的な整理をしたいとお話させていただいてきました。これまでいろいろな議論も出てきていますので、次回はある程度の中間整理をした資料を吹田市と摂津市で用意させていただき、御議論いただきたいと思います。また、吹田市・摂津市の健康や医療の特性について国保データなどをベースに資料を出させていただければと思っています。

本日は以上で終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。